

GIGAスクール構想 1人1台端末(タブレットPC)を活用した新たな学び

千葉市ではGIGAスクール構想に伴い、小・中学校、特別支援学校（小学部・中学部）に教育ICT環境を整備しました。令和3年度から、授業での活用が始まります。

GIGAスクール構想とは

GIGAスクール構想とは、1人1台端末（タブレットPC）と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、子供たちの資質・能力を引き出す環境をつくる国の施策です。これまでの教育実践と教育ICT環境を組み合わせることで、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する構想のことをいいます。

千葉市が導入した「タブレットPC」

- ・授業で活用するタブレットPCは「Chromebook」で、学校から貸与されるものです。
- ・使い方に合わせてスタイルを変えられます。



【ノートスタイル】



【テントスタイル】



【タブレットスタイル (縦)】



【タブレットスタイル (横)】

「タブレットPC」でできること

協働的な学び

創造性を育む教育

効果的な個別学習

授業ではこのような使い方をします(例)

子供たちが

- ・各自で様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択、収集・整理する。
- ・分析した情報を、プレゼンテーションソフトでわかりやすく加工して発表する。
- ・共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合う。

先生が

- ・誰もがイメージしやすい教材を提示する。
- ・一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める。
- ・デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化し、よりきめ細やかな対応を行う。

ICT支援員が学校をサポートします

令和3年度より、ICT機器を利用した学習の充実を図るため、事前の準備や機器の調整、授業での児童生徒への直接的な支援などを行うICT支援員を大幅に増員します。「タブレットPC」の活用のため、市内すべての小・中・特別支援学校を巡回します。

児童生徒向け資料を準備しました

タブレットPCで見ることのできる、児童生徒向け「使用ルール」「児童生徒用マニュアル」を準備しました。使い方を学びながら授業が受けられます。

1人1台端末により、こんな授業に変わります!!

これまでの
教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの
視点からの授業改善

「1人1台端末」ではない環境

学習 一斉	・教師が大型提示装置等を用いて説明し、子供たちの興味・関心・意欲を高めることはできる
学習 個別	・全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難）
学習 協働	・意見を発表する子供に限られる
教材準備 学習評価	・ワークシートの作成、印刷、配付に時間がかかる。 ・子供たちの提出物の集約や小テスト等の採点に時間がかかる。
臨時休業	・家庭のICT環境によって差が生じていた ・一律の対応が困難であるため学校による学習保障に限界があった

学びの
深化

学びの
転換

働き方
改革

学びの
保障

「1人1台端末」の環境

・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる →子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に
・各人が同時に別々の内容を学習 ・個々人の学習履歴を記録 →一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能に
・一人一人の考えをお互いリアルタイムで共有 ・子供同士で双方向の意見交換・共同編集が可能に →各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる
・クラウドにデータを保存、共有して授業で使用 ・子供たちの提出物をクラウドで保存し、ネットワーク上で採点 ・デジタルドリルの活用により採点が自動化 →業務の効率化により子供たちと向き合う時間をより確保できる
・1人1台端末を家庭に持ち帰ることにより、クラウド上のコンテンツを利用した学習やオンライン指導を受けることが可能になる →子供たちを誰一人取り残すことなく、学びを保障することが可能に